

③ 表5. 進捗管理目標（マイルストーン）を達成した研究課題数（割合）

	達成	未達成	合計
マイルストーン1：研究計画の確定	7（100%）	0（0%）	7（100%）
マイルストーン2：研究開始前の準備 （倫理審査、体制作りなど）	17（89%）	2（11%）	19（100%）
マイルストーン3：研究開始	22（81%）	5（19%）	27（100%）
マイルストーン4：研究調査終了	12（92%）	1（8%）	13（100%）
マイルストーン5：データ解析終了	13（76%）	4（24%）	17（100%）
マイルストーン6：研究結果の発信（論文発表、学会発表など）	5（56%）	4（44%）	9（100%）
マイルストーン7：政策策定への貢献 （ガイドライン策定など）	6（75%）	2（25%）	8（100%）

④ 研究事業全体の進捗上の主な問題点

[PDPO 管理にあたっての課題]

全般事項

- ・今年度はヒヤリングやサイトビジット等を十分に行う時間的猶予がなかったが、今後、研究遂行上の問題点解決にあたり、PDPO 制度が有効に活用されるにはどのようにすればいいか、検討が必要。
- ・効率的に研究事業の進捗管理を行うため、研究費規模の小さい研究（たとえば 500 万円未満）については進捗管理の対象から外すことが望ましい。

評価委員会等との関係

- ・中間・事後評価委員会において、PDPO のコメントを提出し、評価の参考にすべきである。
- ・課題設定プロセスに PSPO が有効に関わることができるよう配慮が必要。

マイルストンの設定

- ・研究費規模によりマイルストンの数の基準を定めることが望ましい（10 百万円を超える研究費についてはマイルストンを 1 年あたり 2 - 3 個設定するなど）。
- ・マイルストンの設定は、研究初年度の交付申請時に適切に行うのが望ましい。
- ・今年度終了課題について、ゴール設定を 3 月としている場合が多いが、スケジュールが遅れることを想定し、前倒しでマイルストンを設定することが望ましい。

様式

- ・様式 1 ~ 3 は、公表を前提に作成するか否か、検討が必要（今年度は各研究者の了解を事前に得ていなかったため、公表しない方針）。
- ・様式 1・2 のフォーマットに研究期間を記載しておくこととマイルストーンとの整合性を確認できるため望ましい。
- ・様式 2 に添付する成果物の一覧を様式 2 に研究者に記載してもらう方が管理がしやすい。

い。

- ・様式 2 に添付する成果物はポイントを絞って提出するよう研究者に依頼することが望ましい。たとえば、守秘性の高い資料は提出する必要がない。

⑤ 研究事業の今後の展望

- ・④に記載する「研究事業全体の進捗上の主な問題点」に記載した事項を踏まえ、今後、有効に PDP0 管理体制を推進し、研究事業全体の活性化につなげ、ひいては循環器疾患・糖尿病等の生活習慣病対策に資する研究を展開することが望ましい。
- ・研究事業の成果を効果的・効率的に活用する方法について検討する必要がある。

(作成上の留意事項)

- ・「①進捗管理目標」の表 1 は、各研究課題の進捗状況申告書（様式1）及び研究成果申告書（様式2）の「11. 研究の進捗管理目標（マイルストーン）」のうち、当該年度を達成期限としているものについて集計して下さい。なお複数の目標（マイルストーン）を設定している研究課題があるため、合計は100%にならない場合があります（ $x_1 + x_2 + x_3 + \dots \geq X$ ）。また進捗管理目標（マイルストーン）は、各研究課題で独自に設定するなど、研究課題によって異なる場合がありますので、集計の際には類似する目標をまとめて下さい。
- ・「②進捗管理の実施状況」の表 2 は、各研究課題の研究課題進捗管理報告書（様式3）の「進捗管理の実施状況」（各進捗管理：実施・未実施）を集計して下さい（ $x_{41} + x_{42} = X$ 、 $x_{51} + x_{52} = X$ 、 $x_{61} + x_{62} = X$ 、 $x_{71} + x_{72} = X$ 、 $x_{81} + x_{82} = X$ ）。
- ・「②進捗管理の実施状況」の表 3 は、各研究課題の研究課題進捗管理報告書（様式3）の「進捗管理の総括」（進捗上の重大な問題の発生：あり・なし）を集計して下さい（ $x_{91} + x_{92} = X$ ）。
- ・「②進捗管理の実施状況」の表 4 は、各研究課題の研究課題進捗管理報告書（様式3）の「進捗管理の総括」（問題解決の状況：解決済み・未解決）を集計して下さい（ $x_{911} + x_{912} = x_{91}$ （＝進捗上の重大な問題が発生した研究課題数））。
- ・「③目標の達成状況」の表 5 は、各研究課題の研究成果申告書（様式2）の「c. 目標の達成状況」を集計して下さい（ $x_{11} + x_{12} = x_1$ （＝マイルストーン 1：（例）主要特許出願を目標に設定している研究課題数）など）。
- ・「④研究事業全体の進捗上の主な問題点」は、各研究課題の研究課題進捗管理報告書（様式 3）の「進捗管理の総括」の「総括コメント」をとりまとめて、研究事業全体（各研究課題に共通する）問題点を列挙して下さい。例えば、研究機関の支援体制の整備の不足、生物統計家・プロジェクトマネージャーの不足、患者のリクルート体制の不足、研究費の運用上の問題（単年度の予算執行による弊害）、研究費の確保の不確実性、などが挙げられますが、当該研究事業に特有の問題点についても記載して下さい。
- ・「⑤研究事業の今後の展望」は、表 1～表 5 の結果の総括、「④研究事業全体の進捗上の主な問題点」の解決策、重点的に推進すべき研究領域（新規課題の提案等）、などについて記述して下さい。
- ・様式は適宜引き延ばしてかまいません。

